



Active

2023年度 自主保全士成績優秀者 表彰式記念冊子



2023年度 自主保全士検定試験 成績優秀者表彰式を開催。



公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会は、製造現場での自主保全を推進させる目的で20年以上にわたり自主保全活動に取り組み、「自主保全士検定試験1級・2級」を実施しています。さらに同検定試験合格者の中で成績優秀者を表彰し、先頃、表彰式と講演会を開催しました。その模様をご紹介します。

※本誌掲載の所属・役職は2024年2月時点のものです。



表彰式会場には全国から自主保全士検定試験の成績優秀者が来場。一人ひとりが講演者の話真剣に耳を傾けていた。



メダルを掲げるのは「自主保全士検定試験 1級」に合格した成績優秀者の皆さん。そして前列中央はプレゼンターとして、公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会の河合満 会長、向田光伸 資格認定委員会 委員長、宮脇克典 資格認定委員会 副委員長、迫田明之 資格認定委員会 委員、鈴置智 専務理事が出席。

Contents

- 02 | 2023年度 自主保全士検定試験
成績優秀者表彰式を開催。
- 06 | 表彰者へのメッセージ
「資格合格」はゴールではなく、新たなスタート。
- 08 | 表彰者へのメッセージ
獲得した知識は、日々、設備と自分を磨き上げる。

- 09 | 自主保全士検定試験 企業の取り組み事例
大日精化工業株式会社
- 10 | 自主保全士検定試験 企業の取り組み事例
トヨタ紡織株式会社
- 11 | 自主保全士成績優秀者インタビュー
- 14 | 2023年度
成績優秀者の皆さまよりコメントをいただきました。

プラントエンジニア別冊
Active 2024年6月発行

発行・編集 公益社団法人日本プラントメンテナンス協会
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 3-3 神保町 SF IIIビル 5階
TEL.03-6865-6081 中部事務所 TEL.052-561-5634
<https://www.jishuhozenshi.jp> E-Mail: jishuhozenshi@jipm.or.jp

編集協力 株式会社オフィスインターフェイス
取材・執筆 小泉庸子
デザイン 高井真由美



左写真/1級の成績優秀者には、公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会の河合満会長が表彰状を手渡した。右・中写真/1級・2級の成績優秀者。



1級の成績優秀者は21人。表彰式のこの日、うち16人が式に出席。

製造現場のオペレーターは自主保全の知識、技術を習得することで、迅速な異常発見や修理・改善ができるようになり、重大な故障を未然に防ぐことができます。

「自分の設備は自分で守る」という自主保全の能力を一人でも多く身につけていただくため、公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会では2001年から「自主保全士検定試験」を実施。国内の製造現場には22万人以上の自主保全士認定者（検定試験、通信教育、オンライン試験）が輩出されています。

2023年度は4882人の1級合格者、9303人の2級合格者が生まれましたが、その中で1級から21人、2級から57人が成績優秀者に認定され、先頃、名古屋市のホテル会場にて、表彰式と講演会が開かれました。壇上に一人ずつ立ち、表彰状と記念メダルを授与され、加えて団体表彰された企業からの自主保全活動にまつわる講演会も行われました。

その後の懇親会は優秀自主保全士同士の貴重な交流の場に。皆さんが言葉を同じくするのは「表彰されて満足するのではなく、ここからがスタート」の一言。2024年も10月に「自主保全士検定試験」が実施されます。自主保全の意識から、製造現場が変わります。



2023年度の表彰式は、名古屋市のANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋で開催された。



懇親会では、公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会の理事、資格委員と、成績優秀者の間にも会話に花が咲いた。

自主保全士を目指す高い目的意識が受賞の原動力に。

★ 2級 受賞者 ★



2級の成績優秀者は57人。うち30人が表彰式に出席。会社の研修や上司からのアドバイス、そして家族の応援に支えられたという声も聞かれた。



★ 2級 受賞者 ★



懇親会で懇談する受賞者たち。別の職場の人と意見交換できる有意義な機会に。



壇上で一人ひとりに表彰状が手渡された後、懇親会へ。上司や家族とともに喜び合う姿も。



★ 2級 受賞者 ★



★ 団体表彰 ★



団体表彰では、大日カラー・コンポジット株式会社、大日精化工業株式会社、トヨタ紡織株式会社、日産自動車株式会社が表彰された。同日、大日精化工業株式会社とトヨタ紡織株式会社から講演があった。

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会 会長
トヨタ自動車株式会社 Executive Fellow

河合 満

自主保全士成績優秀者の皆さま、成績優秀者を多数輩出され表彰されます4社の皆さま、本日は本当におめでとうございます。2023年5月、新型コロナウイルスが第5類感染症になりましたが、こうした大変な時期に検定試験に取り組まれた皆さまの姿勢や努力に対して敬意を表します。部下や後輩たちは皆さまが試験に取り組む姿勢を見て、また学んだことを行動で示している様子を見て、「あんな先輩を目指したい」「あのような人になろう」と尊敬の念をもって、これから皆さまを追いかけてくるかと思えます。

私自身も現場一筋で歩んできました、自主保全活動の大切さを深く経験してきましたが、故障が発生してからの事後修繕では手遅れになることも少なくありません。常日頃から第一線でモノづくりに携わり、設備や状況をよく知る人物が状態を見極めながら設備に向き合い、予防保全を行うことが最も大事であり、それを担うのが皆さまです。



表彰者へのメッセージ

「資格合格」はゴールではなく、新たなスタート。

表彰式では、自主保全士成績優秀者および団体表彰を受けた4社に向けて、公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会の河合満会長より「これからの製造現場に自主保全士へ期待すること」と題したメッセージが贈られた。

現在、自動車産業のみならず、すべての業界や業種で言われているのがカーボンニュートラルです。温暖化に対して問題意識は高まっていますが、しかし現場を見ると設備が故障していたり、トラブルが起きていることもあります。その一方で「カーボンニュートラル実現のためにはお金を投じて新設備の導入が必要だ」という声も聞かれます。二酸化炭素を排出して不良品をつくり、そしてエネルギーを使って処分する。これでは本末転倒です。扱っている設備の一つずつを丁寧に自主保全することで、故障を一つずつ減らすのが本来の在り方です。油一滴でもロ

スです。徹底的にきれいにして、不具合を素早く発見し、そして品質を安定させる。これがカーボンニュートラルの本質だと思います。

生産性向上の鍵は、シンプル、スリム、フレキシブル

現在、熊本県を基点に九州が半導体産業で活性化していますが、一方で全国のどの製造業でも人材難に直面しています。そこで人手不足を補うため、自動化を進めるこ

とが必要になってきますが、自動化に伴い故障が増えてしまったりは何のための自動化か分からなくなってしまいます。そのために自動化するほど自主保全が大切になります。また、設備導入の際は、日頃の自主保全活動が重要になってきます。どんな設備をどう管理をしたら故障しないのかについて、オペレーターの皆さまが日頃のモノづくりのノウハウに基づいて意見を出していくことにより、使い勝手の良いラインができると思います。

私はいつも「自動化とはシンプルでスリム、フレキシブルなこと」と言っています。机上の計算でつくったラインは複雑になりがちです。複雑な設備は保全もやりづらし、お金もかかります。DXの面でも同様です。IoTやAIを活用することで効率化を図るのは重要ですが、現場を知らない人に依頼すると、機能ばかり多く使いづらいものになり、そのうち誰も使わなくなってしまう、という結果が生ずることもあります。そうならないためにも皆さまの役割は非常に大きいのです。もちろん、つくって終わりではなく、得た結果を元にさらに発展させて、良いものはどんどん横展開し、全体のレベルを上げていく。皆さまにはそうした活動の第一人者になっていただきたいと考えております。

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会が推進する柱の一つに「からくり改善」があります。からくりはシンプルでスリム、フレキシブルです。自分たちのアイデアでつくり、自分たちでつくったものだから自分で直せますし、



改善も早いので常に進化していきます。仕事で周囲から感謝されれば嬉しいものです。それが仕事の達成感、満足感、やりがいにつながっていきます。そういった気持ちの部分も後輩や仲間たちに知らせてほしいと思います。

最後になりますが、皆さまには自主保全士で表彰された今日こそが本当のスタートと思っていただきたいです。そして新たなスタートを切るという気持ちで、検定を通じ学んだ知識を職場で自信をもって実践することを期待しています。そして1級、2級にふさわしい取り組みを続けて、現場を進化させてほしいと思います。皆さまが後輩から目標とされる自主保全士になっていただくことを祈念いたします。誠にありがとうございます。

※トヨタ生産方式では「自動化」ではなく、ニベンのついた「自動化」という言葉を使用する。自動化とは機械に異常が生じたら、自動で止まる（止める）ようにすることで、不良品の発生を防止すること。これにより人が機械の見張りをする必要がなくなり、生産性の向上を図ることができる。

河合 満

1948年生まれ。1966年、トヨタ技能者養成所を卒業し、トヨタ自動車工業株式会社に入社。本社工場鍛造部長、本社工場副工場長、技監を経て、2015年専務役員に就任。2017年より副社長に就任し、現在はExecutive Fellowを務める。2016年6月より公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会副会長、2022年6月より会長に就任。

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
資格認定委員会 委員長
マツダ株式会社 執行役員

向田 光伸

本日は「自主保全士優秀者表彰式」にお集まりいただき、誠にありがとうございます。本日の表彰式は2023年度の「自主保全士検定試験」において、特に優秀な成績を収めた合格者の方々の功績を表彰する式典です。表彰をお受けになる成績優秀者の皆さまには心からお祝い申し上げます。また式典にご出席の皆さまにおかれましては、大変お忙しいなか、当会の表彰式にお越しいただき、誠にありがとうございます。

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会は、モノづくり、メンテナンスを通じて、産業界の発展に寄与するために「TPM」「からくり改善」「自主保全士」といった事業を展開しております。そのなかでも「自主保全士検定試験」は製造に携わる方々に求められる知識や技能に、保全の機能や管理技術を加えた「設備に強い人材」を育成することを目的としており、幅広い業種の方々にご利用いただいております。この試験は2001年度にスタートし、今年度で23年目となります。累計の利用者数は約28万人、認定者は約14万3000人におよび、製造業界向けの試験として国内最大級の資格試験となっております。2023年度の検定試験においては利用者が1万4185名となり、保全技能を付加した製造に関わる人材育成の関心の高さを示す一つの数字とっております。当会で実施しておりますメンテナンス実態調査や国の調査でも製造業における保全分野の関心は年々高まっており、「自主保全士」



にかかる期待はますます大きくなるなかで、優秀者の皆さまのさらなる活躍を期待するところでございます。

私ごとですが2018年度に自主保全士1級に合格いたしました。皆さまのように優秀な成績ではなく、思う以上に問題が難しく、冷や汗をかきつつという状況でしたが約25年続けておりました「TPM」「自主保全」の知識がしっかりと役に立ちました。つまり自主保全活動の実践は必ず自分の力になりますので、今回得た知識を実践の場で存分に発揮し、応用力を身に付けながら、自分をさらに磨きあげていただければと思います。今回、授与される「自主保全士検定試験」の成績優秀者表彰が今後の皆さまのご活躍を支えるものとして、そしてまた所属企業の上司、部下の方々にアピールできるものとなりますよう大いに期待しております。今後も当会では、製造現場で最前線を担う皆さまの技能、技術、知識の向上のため、またそれをアピールできる場をご提供するために、役員一同、引き続き精進してまいります。

最後になりますが、改めまして表彰をお受けになる成績優秀者と各企業の皆さまに心よりお祝いを申し上げます。

表彰者へのメッセージ

獲得した知識は、日々、設備と自分を磨きあげる。

1万4000人超がチャレンジした2023年度「自主保全士検定試験」。資格認定委員会 委員長の向田光伸氏は、「知識を実践の場で活用し、さらに自分に磨きをかけてほしい」と成績優秀者たちへエールを送った。



自主保全士検定試験 企業の取り組み事例

大日精化工業株式会社

施設・設備本部 設備管理部長

日浅 隆さん

製造と工務の両輪で自主保全を実現。 次の目標は「私も直す人」という意識改革。

独自の技術力で、顔料、着色料、インキ、樹脂合成まで広く製造する化学メーカー「大日精化工業」。1931年創業の老舗が取り組むのは、製造部門と保全部門による「自主保全活動」の実現。

今回、9名の成績優秀者を輩出した大日精化工業グループ。多くの優秀な自主保全士を擁しながらも、施設・設備本部 設備管理部長の日浅隆さんは「本格的なTPM活動への実践に至っておらず下地作り中」と説明する。

とかく製造業にありがちだが、かつて同社も設備トラブルは工務部門任せだった。いわゆる「私作る人、あなた直す人」という意識が根強く、保全に関わる全体での効率の悪さが常態化していたという。

「この改善のためには製造部門と工務部門の両輪による自主保全活動が不可欠です。そこで2011年頃から工務部門主体の自主保全活動を始め、2015年からは製造部門のオペレーターを中心に社員教育を兼ねた自主保全



士資格取得を推し進めました」

その成果は2020年に資格取得者が約260人という結果に表れる。自主保全活動の組織作りを経て「製造部門と工務部門の両輪が揃った自主保全活動」が実現した。

2021年から両輪揃った活動がスタートしてまだ数年だが「突発故障は減少傾向にある」と日浅さん。2023年度の合格者を含めると、現在の取得者は約500人。オペレーターの意識も変わり、「設備の異音に敏感になりました。また何か異常があれば初動対応し、専門的な知識や技術が必要な場合のみ工務部門に依頼するように体制を整えています。何より各自が5Sの意味を身につけているように感じます」

自主保全活動が軌道に乗ると、次なる課題も見えてきた。潜在欠陥の洗い出しや定期修繕の重要性の認知、予知保全の推進などだが、なかでも第一の課題として提起するのは「私作る人」という意識がまだまだ改善されないこと。

「自分たちでも直せるトラブルなのに、依然として安易に工務部門に連絡を入れる。「私作る人、あなた直す人」という意識の慣習を、全社で改めなくてはなりません」

この意識を「私も直す人」へと変革していくことが最優先すべき目標と志を語る。

「自分たちでも直せるトラブルなのに、依然として安易に工務部門に連絡を入れる。「私作る人、あなた直す人」という意識の慣習を、全社で改めなくてはなりません」

この意識を「私も直す人」へと変革していくことが最優先すべき目標と志を語る。



トヨタ紡織株式会社

猿投工場技術員室・SX
若尾 浩章さん

TPM活動を日常化にするために 製造と生技が同じベクトルで進む。

2008年から国内全工場でTPM活動をスタートしているトヨタ紡織株式会社。今後も継続的にTPM活動を実施するため、力を入れるのがTPM活動を理解した自主保全士の育成だ。

2003年から自主保全士の資格試験に取り組み始めたトヨタ紡織株式会社。これにより2022年度の資格保有者数は1600人超と、対象者3889人の約40%という高水準を誇る。しかし猿投工場技術員室・SXの若尾浩章さんは「直近5年間の取得状況では2018-2019年の合格率は全国平均以下。2020年以降は少数精鋭で受験に挑んだものの合格率は横ばいで、思った通りの結果になりませんでした」と話す。

同社TPM事務局では「この状態では、今後TPMの知識を有する人材が不足し、活動が衰退する」という危機感を抱き、TPM活動を理解した自主保全士を増やすべく4つの対策を実施。それがTPM事務局組織体制の



変更、教育内容の統一と工場講師の育成、自主保全士が輝ける場の確保、資格取得対象を生技部門へ拡大の4項目だった。

「これまでさまざまな設備で改善を積み重ねても、新規設備にそのノウハウが織り込まれていないことがありました。製造と生技で力を合

わせれば、TPM要素が反映された設備が導入できます」と若尾さんは説明する。未来の設備を視野に入れた取り組みだ。そこで今回は生技部門も自主保全士の資格試験に参加している。

「製造と生技が同じベクトルで進めば相乗効果を発揮し、高いレベルの安全・品質・生産性を確保できます。互いの良き点が融合した“生まれの良い設備”をつくることで、自主保全はさらに高度な活動を行っていただけます」

対策は奏功し、2023年度の受験者数は同社平均の87人から153人、合格率は同社平均の52.6%から79%へと大幅に向上。過去最高の合格率になった。

「今後は弊社の技能育成センターが講師の育成を担い、レベルの均一化を図ります。資格取得者が安定的に増加していくこと、そしてTPM活動が日常的な活動になることを一丸となって目指していきます」



自主保全士成績優秀者インタビュー

優秀者6名の方から、自主保全士としての心構え、試験に向けての過程、表彰の印象をうかがいました。そこには自主保全に対する高い意識が感じられました。

合格に向けた取り組み(学習方法)も聞きました

- ① 公式テキスト
 - ② 過去問題集(学科)
 - ③ 過去問題集(実技)
 - ④ 受験準備講座(JIPM主催)
 - ⑤ 社内講習
 - ⑥ その他
- 掲載は企業名の50音順です。



オリエンタルモーター株式会社
馬場 奈美さん

- ①
- ②
- ③
- ⑤



自主保全の本質を理解し、仕事が変わる。

製造一課に所属し、ラインプレーヤーとしてモーターの組み立てに従事する馬場奈美さん。同社は製造担当全員の資格取得を目指すことを目標に掲げ、上司からの勧めもあり、また“資格は財産”という考えのもと、2022年度に自主保全士2級に挑戦。これに合格し、さらに今年度は成績優秀者での1級合格となった。

「2級のときは専門用語や各種名称など、膨大な量の単語を覚えるのに必死で、自主保全の本質が分かっていませんでした」と振り返る。しかし2級で獲得した知識をいずえに1級のテキストに向き合ったことで、より深く自主保全とは何かという部分に到達できたと話す。

「自主保全の基本は、自分の設備は自分で守ること。入社12年目ですが、ついこの前までは掃除の大切さも認

識していませんでしたし、時間を計測して清掃することに何の意味があるのかと思っていました。でも今は両者の大切さも理解していますし、同じラインでも見える景色が全く違う。本当にながらりと意識が変わりました」

以前はやりにくい箇所はやりにくく今まで使用していたが、どう改善すれば作業効率が上がるのか、自主保全活動を通して改善の目も養われていると感じている。

今年度の同社の合格者数を加えると、製造一課の半数以上が自主保全士認定を有するという。馬場さんは「2024年度からの私たちの仕事が変わる」と期待している。



トヨタ自動車株式会社
和田 瞬さん

- ①
- ②
- ③



自主保全は5Sで始まり5Sに至る。

治具等の設計に関わり、長く図面を引く仕事に就いていたという和田瞬さん。入社25年目のベテランだ。これまで「モノづくりに直結し、ムダにならない」という思いから、さまざまな資格取得に挑戦し続け、多くの資格を取得してきた。

そんな和田さんだが、自主保全士は新たな分野へのチャレンジだった。ベテランをもってしても習得は簡単ではなかったという。とはいえず学習内容には過去の検定と重複する部分もあり、そのため「自主保全は何かという、原点でありかつ専門的な部分まで習得することができました」と振り返る。

「いま感じているのは自主保全を突き詰めると“5S”になる、ということです。5Sで始まり、5Sに至る。機械に

対して向き合う時間の積み重ねが、機械の精度を上げ、製品の品質を安定させるのだと思い至りました」

設備に関しメンバーに教える際も、体系的に説明できるから深い理解を得られ、一方では自身の知識や技能も向上し、リーダーシップも身につけてきたと感じる。

「常に自らメンテナンスしているからこそ、自主保全士としての力が発揮できます。オペレーターとしていつも機械の傍らにいた20代の頃に資格を取得しておくべきでした。今後は自主保全士検定は製造現場にいる人間が持つべき資格だと、若手に普及活動していくつもりです」



日産自動車株式会社
たかやま けんし
高山 健志さん

1 2 3 5



資格とは、自分で考える力を得たこと。

高山健志さんは輸出向け高級車に搭載するエンジンを製造する部門に所属し、グループリーダーとして約30人の作業員をまとめる立場にある。6年前に自主保全士2級を取得し、その後の3年間は自主保全を担当。今回の1級合格のベースとなったのは「この3年間の経験や知識、運用する手法が感覚的に身につけていたから」と考えている。現在はその知見を現場の改善に役立てている。

「自主保全士の資格は安全や品質の確保、生産性の向上、小集団活動での改善など、さまざまな面で活かされています。ロスの種類や分析手法を知ることで職場の弱点や優先課題を見出し、改善を行えるようになりました」

担当するエンジンの製造ラインには、手作業で行われる工程も多いことから、個々のやり方や技量が生産に影響

することもあ
るという。

「そんなときは小集団活動の考
え方を入口とし、どう改善できるかを発想しています」

今、現場で起こる問題や解決すべき課題は目まぐるしく変わり、それらにすぐに対応することが求められている。

「資格があるということは、自分で考える力を得たということ。何か起こったときに受け身ではなく、能動的に動く。これが自主保全にとって大事なことだと思っています」

最近では単なる改善にとどまらず、維持管理を行いながらさらに改善を加えるような思考が身につく、PDCAサイクルが行えるようになってきた。そう力強く言葉を結ぶ。



富士フィルムマテリアルマニュファクチャリング株式会社
いのうえ ゆうすけ
井上 裕介さん

1 2 3 5



「自分で守る」ことで知見も増える。

入社から現在まで保全業務に配属、この春で4年目を迎えた。アナログ方式が再ブームのカメラ、チェキの完成品を梱包出荷するラインの保全を担当。19人いるグループのうち、4人のチームでおよそ7台の設備を管理する。

「今思い返すと、入社当時は自主保全の意味自体をよく分かっていませんでした。そこから勉強が始まりましたが、機械の勉強に増して電気の勉強が大変でした。PLC（プログラマブルロジックコントローラ）などを習得するのは難しく、3年過ぎてまだまだ勉強の毎日です」

そんな折、上司からの勧めもあって自主保全士検定試験に挑戦することに。2ヶ月ほど前から試験対策の勉強を始めた。最初は試験の傾向を知らず四苦八苦であったが、次第に検定問題の理解が深まると、俄然、興味が湧き、

それがモチベー
ションにつなが
っていった。社内
研修も大いに役
立ったと振り返る。

「検定を通じ、『自分の設備は自分で守る』という意識の大切さを学んだことで、自主保全対応時には原因を完璧に理解するまで追及し、設備に対する知見を増やせるようになりました。どんな小さな不良箇所も見逃さず検査すること、そして品質が満たない製品を出荷させないこと。業務の上で何より大切な心構えだと思っています。成績優秀者に選ばれたことで事を終わらせず、今後も自主保全士としての知識、技能の向上に努めたいと思います」



本田技研工業株式会社
そさ るいす
宗沙 ルイスさん

1 2 3 5



多くの“目”で小さな不具合まで発見。

溶接に関わる設備保全を担当し、ロボットだけでも300～400台というラインを管理する。2023年度はTPM委員長として、保全体制の再構築を行った。

「自主保全と専門保全が行っている作業が重なったり、逆にどちらも手入れしていない箇所がありました。そこでお互いの作業の洗い出しと区分けを行い、仮基準書を作成して、役割分担を明確にしました」

加えて自主保全活動に組み込んだのが期間従業員だ。「毎月実施しているTPM活動の時間は、期間従業員も参加しています。“目”が増えたことで、小さな不具合でも見つけやすい状況ができ、発見の機会が格段に増えました」

不具合の再発を避けるために状況はすべて管理基準に

フィードバック。
この積み重ねに
より生産性は向
上し、精度の高
い体系的な自主保全環境が整いつつある。

「200～300人もの従事者全員が同レベルで保全に関わるわけではありませんが、生産稼働率が上がれば士気も上がり、また不稼働の分析もしやすくなります」

トラブル発生場所が過去にTPM活動を行ったところであれば、不具合に至った理由も解明しやすい。「不稼働のないラインはTPMから実現できると考えている」と語り、今後はDXを活用し人が入れ替わっても同じレベルで自主保全できるシステムをつくることを目標だ。



三菱重工業株式会社
かねこ たかし
金子 卓史さん

1 2 3



自主保全は社会全体の利益につながる。

現在、能登半島地方での災害救援や復旧活動で盛んに活用されているものの一つに、海上自衛隊の艦載型ヘリコプターがある。その操縦系統の製造部門において、20台ほどの製造設備を担う金子さん。製造担当ではあるが、自主保全の重要性に早くから気づき、部内で積極的に取り組み、日々指導にあたっている。

「製造の側からしてみれば、設備は正常に動いて当たり前。壊れたら直してもらえばいいといった意識がついてしまうことも。そんなとき自主保全の正論をぶつけても、理解してもらえないことはあります。そこで製造担当一人ひとりの考え方、気持ちにまず寄り添いつつ、自主保全を続けることが結果的に会社の利益につながり、ひいては社会全体の利益につながることを丁寧に説いています」

社内のTPM
事務局から勧め
られ、最初から
1級を受験。晴
れて合格し、な
おかつ成績優秀
者に選ばれた。

「短期集中で検定に備えました。忙しいなか、妻の支えがあったからこそ頑張れたと思います。成績優秀者に選ばれて、今は何より家族に感謝したいです」

表彰式の会場では、奥様の喜びの笑顔も見られた。「検定試験で学んだ『自主保全とは経営参画であり、人間尊重である』という考え方に感銘を受けました。自主保全に代表されるモノづくりに関する高い意識が、職場を活性化させ、企業の生産性を向上させるのだと思います」

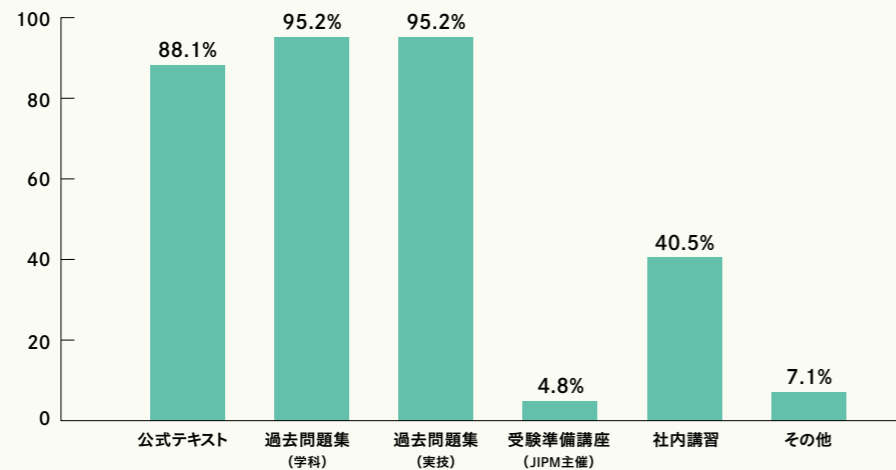


2023年度 成績優秀者の皆さまよりコメントをいただきました。

- 合格に向けた取り組み(学習方法)
 - ① 公式テキスト ② 過去問題集(学科) ③ 過去問題集(実技)
 - ④ 受験準備講座(JIPM主催) ⑤ 社内講習 ⑥ その他
- 成績優秀者受賞の喜びの声(受賞の感想、今後の抱負など)
- 「自主保全士」を取得したことで業務に役立ったこと

掲載は企業名、および氏名の50音順です

成績優秀者皆さまの合格に向けた取り組み(学習方法) 複数回答



★ 2級 ★

株式会社IHI
まつだ ひさし
松田 央史さん

1 | ① ② ③ ④

2 | 合格できるかどうか不安でしたが、こういった表彰をいただけるとは思っていませんでした。ひとえに講習会、テキストのおかげかと思います。今後は資格を取得して終わりではなく、自職場にて率先して自主保全活動をしていきます。

3 | 「清掃は点検なり」のもと、これまでの清掃活動の見直しを職場全体で実施し、掃除して終わりではなく、点検を意識することにより、破損や緩みなどの欠陥を確認することができ、設備の維持へとつながりました。また自職場の設備への関心、知識向上につながり、初期清掃の重要性を学ぶことができました。

★ 2級 ★

産業振興株式会社
おおにし ひろし
大西 洋さん

1 | ① ② ③ ⑤

2 | 受験勉強を始めた頃は、設備や自主保全に関して知らないことが多く合格できるか不安でしたが、無事合格することができました。さらに成績優秀者になることができたのは、受験勉強に協力してくださり、日々励ましてくださった職場の方々のおかげです。成績優秀者となり期待に応えることができ、非常に嬉しく思います。

3 | なぜなぜ分析やPM分析を学んだことで、設備の異常や故障と原因の関わりについてイメージしやすくなりました。異常が発生した際の原因箇所から異常発生箇所までの連なりや、原因追究の仕方などを知ることができ、設備について学んでいくための土台を築くことができました。

★ 1級 ★

株式会社ジェイテクト
ふくもと しんや
福本 真也さん

1 | ① ② ③ ⑥

2 | このたびは成績優秀者に選出していただき大変嬉しく思います。受験するにあたりサポートしてくれた人達に感謝します。今後は、学習で学んだ知識を活かして生産性の向上や、より良い品質のモノづくりを目指します。

3 | 改善活動を進めていく上で、5W2H質問法やECRSの考え方を意識して活用することにより、効率良くムダを無くすことができました。また清掃の大切さを再認識し「清掃は点検なり」を実行することで、ボルトの緩みなどの設備のちょっとした異常も以前より多く発見できるようになり、故障や不具合を未然に防ぐことができました。

★ 2級 ★

しげる工業株式会社
まるやま しほみ
丸山 史穂美さん

1 | ① ② ③

2 | 自主保全に関わる知識など習得する機会がなく、分からない事が多々あり、非常に苦労していました。こうした背景から、自主保全スキルをどうしても習得したく、人一倍勉強をしました。合格し、安心したのと同時に優秀者に選ばれたことが嬉しかったです。合格がゴールではなく、得た知識を活かせるよう業務に取り組みたいです。

3 | 主にプラント事務業を行う立場におり、現場の方々と会話をする機会が多くあります。その際、設備の機能・構造やTPMに関する専門用語が多く、理解に苦しむことがありました。今回、自主保全士の資格を取得したことで知識の幅が広がり、より円滑なコミュニケーションがとれるようになりました。

★ 1級 ★

株式会社三五
いなぼ しょう
稲葉 翔さん



1 | ① ② ③

2 | このような表彰をいただいた事は自信につながり、大変喜ばしく思っております。今回得られた知識を日々の業務で最大限活かせるように考え、実践できるようにしていきたいと思っています。

3 | 今回学習したことで、今までの自分の考え方やアプローチにおける幅が広がったと感じています。自主保全活動では知識不足で後手後手になっていた、基本条件の整備や維持管理への行動基準の作成なども意欲的に取り組みました。また、問題解決においては現状分析から適切な対策まで効率よく進めることができるようになったと思います。今後も自分自身のスキルアップに向けて精進し、後進の教育にも活かしていきたいと思っています。

★ 2級 ★

株式会社シーヴェイテック
こだま たつや
小玉 達也さん

1 | ① ② ③

2 | 成績優秀者に選ばれ、大変光栄に思います。今回得た自主保全の知識を日々の業務に活かして、自主保全活動に取り組んでいきたいです。今後は自主保全士1級を受験し、成績優秀者に選ばれるように頑張ります。

3 | 知識が増えたことにより、モノの見方が変わり、日常点検や初期清掃・作業手順等の細かい点に気がつけるようになりました。今まで気づくことのできなかった部分の改善を進めることができ、品質・安全性が向上し、職場に貢献できていると感じます。

★ 2級 ★

株式会社新菱
ごとう はやひで
後藤 隼秀さん



1 | ① ② ③

2 | 成績優秀者の表彰には大変驚きました。しかし、自身の努力が評価されたことに非常に喜びを感じております。今後も学びの意思を絶やさず、更に向上させていきたいと思っております。

3 | 設備保全に関して学ぶことができたのはもちろんですが、設備や運用の改善に対する目線が変わりました。この経験を「より良い現場作り」に活かしていきたいと思っております。

★ 2級 ★

住友電気工業株式会社
のがみ ともや
野上 智也さん



1 | ① ② ③ ⑤

2 | このたびこのような栄誉ある表彰をいただくことができ、大変光栄に思います。今後は現場を通じて、さらに自主保全に対する意識を高めていくとともに、学んだことを現場に伝えていき、活気ある職場づくりを行いたいです。

3 | 基本条件の整備や5Sなどの重要性を今回の学習を通じて再認識することができ、今まで以上に意欲的に取り組むことができている。まだ目に見えた生産性への効果は出ていませんが、予防保全が重要だということ学んだので、より良い職場になるよう実践的内容に落とし込んだ活動をしていきます。

★ 2級 ★

住友電気工業株式会社
やまもと まい
山本 真衣さん

1 | ① ② ③ ⑤

2 | 成績優秀者に表彰いただき、大変嬉しく思います。今後は設備に強いオペレーターを目指して、検定を通して深めた知識を日々の自主保全活動に活かしていきたいです。

3 | 5Sの重要性を再認識することができ、実際に職場で自分の担当設備付近の5Sを見直したことで設備の異常に気づきやすくなり、より安全で作業しやすい作業環境づくりを行うことができました。

★ 2級 ★

千寿製薬株式会社
はしもと かずひろ
橋本 和太さん

1 | ① ② ③ ⑤

2 | 初めて公式テキストを見たときには、その厚さに気後れしましたが、業務との関連性が高い内容であることから意欲的に学ぶことができました。今後は学んだ知識を職場で活用するとともに、さらに深めていき1級合格を目指します。

3 | 自主保全について学んだことで、普段から設備の劣化を防ぐことを意識して作業するようになりました。その結果、ボルト・ナットの緩みやシール部からのわずかな漏れなどの微欠陥を発見することができました。

★ 2級 ★

大日精化工業株式会社
かわべ ゆきと
川邊 幸人さん



1 | ① ② ③ ⑤

2 | 嬉しいです。頑張った甲斐がありました。勉強については情報量が多く不安はありましたが、現在の仕事に関連づいたものがあり興味が持てました。また当社の保全部門の協力のもと社内勉強会を開催していただき、とても勉強の励み、助けになりました。今回学んだ知識を活かし、職場の機械への自主保全を意識しながら活動に努めていきたいと思っております。

3 | 日常点検を含めた初期清掃の大切さを知り、自らが進んで保全に取り組むことの重要性を学ぶことができました。また知識が身についたことで、保全部門と内容の伝達がスムーズになり、意思の疎通もしやすくなったと感じました。

★ 1級 ★

大日精化工業株式会社
ごとう りょう
後藤 諒さん

1 | ① ② ③

2 | 自身は化学系の出身であったため、主に機械系の領域で展開される自主保全士試験は、合格することが難しいのではないかと考えていました。そのために優秀者の表彰は驚きましたが、試験に対する取り組み方が間違っていなかったことが分かり、今後の業務や資格試験に対する自信につながりました。今後は、少しでも今回の資格試験で得た知識を活かし、日々の業務に邁進します。

3 | 設計・保全部門として、オペレーターに対してどのように自主保全業務の一部を移管していくか、その指標を得ることができました。また、自主保全の取り組みを進めやすい設備設計の重要性について、改めて認識できたことも大きな収穫になりました。

★ 2級 ★

株式会社デンソー
はだの ゆうと
羽田野 優人さん



1 | ① ② ③ ⑤

2 | 学生時代に学んだ知識と社内講師の実務を通じた分かりやすい指導が、今回の表彰につながったと思います。今回、新たに学んだ知識を自職場の自主保全活動に活かしながら、私自身は自主保全士1級の取得に向けて成長していきたいです。

3 | これまで気づけなかった設備の細かな変化に気づけるようになり、設備の異常が発生する前に対応できるようになりました。その際に知識を活かして原因を突き止め、処置と再発防止策を提案することができるようになり、メンバーから感謝され嬉しく思いました。今後も設備総合効率向上につながるよう努力したいです。

★ 2級 ★

株式会社豊田自動織機
あんま ゆいし
安間 結詩さん



1 | ② ③

2 | 受験勉強を始めた頃は、学園で学んでいない内容も多くあり、合格できるか不安でした。結果を聞いたとき、とても嬉しかったです。現場配属後は、勉強して学んだ知識を活かし、より良いモノづくりを目指して頑張ります。

3 | 自主保全士の勉強を通して、製造現場における大切なことを多く学ぶことができました。その中でも4Sは成りゆきで行っていましたが、その重要性を学ぶことで製造現場を意識した4Sを行えるようになりました。

★ 2級 ★

株式会社豊田自動織機
おおしろ しょうたろう
大城 昌太郎さん



1 | ① ② ③

2 | 今回、受賞できたのは、家族の支えがあってこそなので、家族に感謝を伝えようと思います。また、来年度には1級に挑戦しようと考えているので、合格できるように努力していきます。

3 | 現在、社内の自主保全活動に参加しており、そのメンバーと専門性の高い会話がスムーズにできたことです。資格取得以前は、メンバーの話す内容が理解できず活動の効率が落ちていました。しかし資格取得後は知識を身につけたことで、メンバーとの意思疎通がスムーズになり活動効率が向上しました。

★ 2級 ★

トヨタ紡織株式会社
おかだ かおる
岡田 薫さん

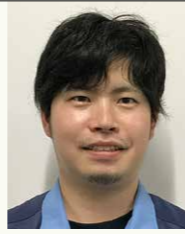
1 | ① ② ③ ⑤ ⑥ (インターネット検索)

2 | 上司からの勧めにより受験に至りました。勉強開始時は合格さえできればという思いでしたが、勉強をやるにつれて、モノづくりにおける自主保全の必要性が分かり、とにかくこの機会を活かして自主保全の知識を一つでも多く身につけたいといった気持ちが次第に強くなっていきました。その結果が、成績優秀者といった素晴らしい賞をいただけることにつながり、励みになっています。

3 | 設備や治具の精度を落とさず維持していくために、初期清掃での点検を今まで以上にしっかり管理・実施するようになりました。初期清掃の大切さ、このことが職場全体に浸透できるよう、自分自身の行動で示していければと思っています。

★ 1級 ★

株式会社豊田自動織機
よしかわ けんた
吉川 健太さん



1 | ① ② ③ ⑤

2 | 成績優秀者として選出していただき大変嬉しく思います。とにかく合格したいと考えていたので、勉強の成果を存分に発揮できて良かったです。いただいた評価に恥じぬよう、身につけた知識を知識のままに終わらせず、実務に活かして今後の活動に取り組んでいきたいです。

3 | 初期清掃の重要性を学んだことにより、今までこのくらいなら大丈夫だろうと思っていた汚れが、まさしく不具合の元という意識が働くようになりました。どうして汚れているのか、どうしたら汚れをゼロ、もしくは軽減することができるかというところまで深く考えることができるようになったのは、自主保全士での学びのおかげだと思います。

★ 2級 ★

トヨタ紡織株式会社
くまがい ひろゆき
熊谷 博幸さん

1 | ① ② ③ ⑤ ⑥ (インターネット検索)

2 | このたびは自主保全士2級において、成績優秀者に選出していただき大変光栄に思います。学習を始めた頃は分からないことも多く大変でしたが、テキストを繰り返し読むこと、過去問題を何度も解くことで理解が深まっていくのを感じました。この機会に得た知識・技能を活用し、日々の業務に取り組んで行きたいと思っています。

3 | 自主保全士を取得する前と後で設備に対する見方や考え方が変わりました。設備の微欠陥や強制劣化を防ぐ初期清掃・日常点検の重要性を理解することで、今まで気づけなかった微欠陥を早期に発見し、整備の故障を未然に防ぐことができました。

★ 2級 ★

日産自動車株式会社
いとう たけし
伊藤 剛さん



1 | ① ② ③ ⑤

2 | 受験をするにあたり、学習スケジュールを決めて計画的に取り組み、何度もテキストを読み返しながらい目標に向かって努力したことで、それが合格につながり嬉しく思っています。今後は学んだ知識や経験を活かし、自分だけでなく職場全体のスキルアップに貢献し、より良いモノづくりを目指していきます。

3 | 自主保全の基礎を学んだことで、基本条件の3要素(清掃、給油、増締め)の大切さを改めて理解しました。これまで気がつきにくかった潜在欠陥に対して、今まで以上に目を向けるようになり、発生源や困難個所の顕在化、技能を高めることができました。結果、チョコ停が低減し、設備総合効率の向上につながりました。

★ 2級 ★

日産自動車株式会社
さかの てんせい
坂野 天星さん



1 | ① ② ③

2 | 今回このように表彰していただき、大変光栄に思います。また受験にあたっての取り組みをご理解いただいた職場の方々にも感謝申し上げます。合格して終わりではなく、学んだことを日々の業務に活かしていきたいと思っています。

3 | 私の職場は専門保全がないので、設備の立ち上げからオペレーション、不具合対応まで一貫して行う必要があります。自主保全の知識を得ることは大きな意義があると考えています。現在は教育期間中なのでまだ業務で実践できてはいませんが、活動を職場全体に波及させていき、設備に強い集団を目指していきたいと思っています。

★ 2級 ★

日産自動車株式会社
つなわき よしひこ
綱脇 慶彦さん

1 | ① ② ③

2 | 製造課のマネージャーという立場であり、課員にも自主保全士の資格を強く推奨していましたので、合格に一安心です。設備保全は現場の競争力におけるベースの一つです。今後も自主保全が形骸化しないよう、私自身が学ぶ姿勢を忘れず、率先垂範(そつせんていはん)で取り組んでいきます。

3 | 現場の自主保全・TPM活動に対して、今回学んだ知識や目的・メリットを踏まえながらアドバイスするよう心がけています。また、公式テキストにあるモデル活動や活動板の工夫などは実践的であり、参考になりました。製造現場オペレーターのみならず、管理職も自主保全を学び実践することは、現場力向上・組織体質改善のマネジメントの一つとしても非常に有効と感じています。

★ 2級 ★

日産電気株式会社
おぐす だいご
小楠 大吾さん

1 | ② ③

2 | 内容をしっかり理解していないと悩んでしまうような問題がいくつかあり、不安でしたが成績優秀者に選出されて良かったです。学んだことを予防改善活動に活かせるように、仕事に取り組んでいきたいと思っています。

3 | 自主保全士検定を取得して間もないため、まだこれという結果は出ていませんが、工場での改善活動に役立てていきたいと考えております。取得前から自主保全士としての活動自体は行っていますが、知らないことを多く学び、深掘りもできたため、日々の予防改善活動に今回習得した手法や考え方を活かしていきたいです。

★ 1級 ★

日本ガイシ株式会社
むらたに りきや
村谷 力也さん



1 | ① ② ③

2 | 今回表彰いただけたのは職場の上司や先輩方のご指導と、現場作業で培った経験を発揮することができた結果だと感じています。身につけた知識を今後の自主保全活動に活かすと共に、後輩の育成にも尽力します。

3 | 「自分の設備は自分で守る」という意識が強くなり、設備の状態を観察する習慣が身につきました。それにより搬送設備で発生していたチョコ停の原因が、駆動チェーンであることを発見することができました。適正たわみ量を設定し、誰でも異常判断ができるようにしたことで、搬送トラブルを改善することができました。設備に強い人材になるために、私は「三現主義」を実践し、率先して行動することで、自社の生産性改善に努めていきます。

★ 1級 ★

パナソニックスイッチングテクノロジーズ株式会社
たかはし けいた
高橋 佳太さん

1 | ① ② ③

2 | 成績優秀者に選出していただき、大変光栄に思います。試験に合格して終わりではなく、今後も学習や日々の業務を通して、自主保全に対する理解を、より一層深めていきたいと思っています。

3 | 「清掃」に対する意識が変わりました。清掃をすることで異常の早期発見や異常につながる原因を未然に防ぐことができるという意識をもって、日々の業務の中の清掃に取り組むようになりました。清掃もしっかりとした仕事の一部であり、「清掃は点検なり」という言葉のもと、今後も手を抜くことなく取り組んでいきたいと思っています。

★ 1級 ★

株式会社ブリヂストン
しらいし まさき
白石 正樹さん

1 | ① ② ③

2 | 資格取得を促す立場になったため、自らも受験しました。過去問題の解説を実施し、公式テキストで確認の繰り返しを行いました。歴代の同立場の方にも成績優秀者が続いていたので、その流れをつなぐことができ良かったです。資格を取っただけでは意味がないので、実際に活用してより良い現場にしていきたいです。

3 | 資格取得者が増えることで、同じ考えを持つ人が同じ視点で現場をみられることにつながり、対応がしやすくなり、現場力があがると期待しています。

★ 2級 ★

株式会社
プロスパイラマニュファクチャリング
あいざわ なおのり
相澤 尚徳さん



1 | ① ② ③ ⑤

2 | 日頃の業務で何気なく聞いていた用語の意味や使い方等の知識が習得でき、試験勉強も楽しく感じられました。今回、身につけた知識を少しでも定着できるように、日々の業務の中で活用していきたいと思っています。

3 | 自分は品質保証の業務に携わっておりますが、製造や技術関連の改善活動に関する報告内容を、より深く理解することができるようになったかと思います。特にロスや設備総合効率の計算方法や考え方を覚えたことは、事象を細分化して捉えることを意識づけられたと思います。それにより自分の工場が現在どのような状況なのかを理解するのも役立っていくと期待しています。

★ 2級 ★

株式会社
プロスパイラマニュファクチャリング
まつうら ゆうき
松浦 祐樹さん



1 | ① ② ③ ⑤

2 | 無事に自主保全士検定試験に受かることができ、かつこのような成績優秀者に選んでいただき大変嬉しく、また光栄に感じます。今後、試験を通じて学んだことを自らの改善業務に活かすだけでなく、未来を担う後輩の技術者に対し教育、引継ぎを行い、改善活動がより活発になっていくように努めていく決意です。

3 | 新規品の立上げにおいて、設備の確実性や、設備総合効率等、数値で表す指標を活用し、設備導入の効果や改善の優先順位づけ等、ロジックに基づいた改善活動ができるようになりました。

★ 2級 ★

本田技研工業株式会社
にしやま ゆきひろ
西山 幸宏さん



1 | ② ③ ⑤

2 | 表彰をいただき大変嬉しく思います。講習会等の会社からのサポート、また所属部署の皆様のご理解ご協力のおかげで良い結果を残すことができました。今回、学んだ知識を無駄にせず実務に活かし、今まで以上に生産に貢献できるよう努力してまいります。

3 | 生産関係の知識が無かったため、TPMの全体的な流れ、設備のロスや稼働率の考え方・定義をはじめとした設備の信頼性や能力を評価する定量的な指標を初めて学びました。これらの知識を改善活動等に活用する事ができました。また各構成部品の種類や点検手法を学び、実際に扱う設備の理解を深めることができました。

★ 2級 ★

株式会社ミツバ
よしの しげる
吉野 茂さん

1 | ② ③

2 | 過去に出題された問題に全て正解できるよう、過去問題集を2〜3回繰り返し返しました。知らない単語の意味や、解答の理由を自分で調べたりしました。繰り返し解くことで、自分の苦手な分野や問題の傾向が分かるようになり、最終的に自信を持って回答することができました。

3 | 普段は何気なく行っていた5Sは、自主保全という観点からも、とても重要であり、安定的な生産は日常の5Sという土台の上に成り立っているということを認識できました。

★ 1級 ★

三菱重工業株式会社
ひびの こうじ
日比野 宏次さん

1 | ① ② ③ ⑤

2 | 成績優秀者に選ばれるとは思っていませんでしたので、大変嬉しく思います。また良い結果が出せたのは、会社から勉強のサポートをしていただいたおかげだと大変感謝しています。今後は、学んだことを活かして会社に貢献していきたいです。

3 | 基本条件の整備や5Sについて学び、基本的なことではありますが、今まで以上に清掃や点検など、すみずみまで気を配るようになりました。また改善活動に必要な改善・解析手法を学び、特に改善の4原則(ECRS)を用いて、自職場の業務フロー改善や、ミスの削減による品質向上に貢献できると感じておりますので、今後もしっかりと業務面で活かしていきたいです。

2級

三菱マテリアル株式会社
かしわばりょう
柏葉 僚さん



1 | ① ② ③

2 | このたびは成績優秀者に選出いただき、大変嬉しく思います。今回、学習したことで得られた知識を職場の自主保全活動で活かせるよう、努力していきたいと思っています。

3 | 自主保全の重要性に関して学んだことで、日々の業務の中で意識して行動する機会が増えました。また、設備保全に関して学んだ基礎知識を活かし、設備の状態を見極めて異常の早期発見、および即座に対処することを心掛けています。

2級

個人
かねみつ まこと
金三津 誠さん

1 | ① ② ③

2 | 社内でTPMリーダーを任された経験があり、復習を兼ねて受験しました。公式テキストにはTPMの全てが詰まっており、もっと早く検定を受けるべきだったと感じました。学んだ知識を毎日の業務に活かしたいと思っています。

3 | 点検にかかる時間を短縮するために、見える化を進めていくことが重要だと分かりました。圧力ゲージに適正範囲をマークするといった見える化によって、機械の不具合が誰でも一目で発見できるため、見える化によって業務の効率を上げていきたいです。

1級

個人
かわにし たかひろ
川西 高広さん



1 | ① ② ③

2 | このような素晴らしい表彰をいただきまして、大変嬉しく思います。今回、勉強をして得た知識を活かして、自主保全活動や改善活動に取り組み、会社に貢献できるよう邁進してまいります。

3 | 故障ゼロの考え方の重要性を学んだことで、作業する際に基本条件は整っているか、正しく操作しているかなど、これまで以上に設備を故障させないように意識して作業をするようになりました。また設備の点検等により、不具合や欠陥を顕在化させ、復元することで、自身のスキルアップにつなげることができました。今後も学習で学んだ知識を業務に活かせるよう努めてまいります。

2級

個人
しおざき ひかる
潮崎 光さん

1 | ① ② ③

2 | 自主保全士取得は昨年の目標であり、成績優秀者に選出されるとは考えておらず、誠に名誉に思います。今回の表彰は自身の努力だけではなく、職場や家族の支えが大きいと実感しています。今後も学習に励み、1級を目指します。また学んだ知識を職場で活かし、お客様に喜んでいただけるように良い製品をつくっていきます。

3 | 5S活動を通して職場環境を整えることで、効率化による生産性向上や安全性向上を図れました。「清掃は点検なり」を学び、潜在欠損があるかもしれないという意識の変化や設備を見る目が変わりました。初期段階からの自主保全で機械寿命が延び、トラブルや故障が減り、ひいてはコストダウンにつながりました。

1級

個人
すがぬま しゅんすけ
菅沼 俊甫さん

1 | ① ② ③ ④

2 | 努力が実を結び、嬉しく思います。今後は勉強を通じて得た知識を、職場で発揮していきたいと思っています。また育休中の受験となりましたが、快く背中を押してくれた家族にも感謝と喜びを伝えたいと思っています。

3 | 今後、育休から復帰し、製技として樹脂部品の製造工程・設備の改善業務に携わる予定です。今回学習した維持活動と改善活動のそれぞれの視点から、「ロスゼロ」に向けた具体的な提案を行い、生産性向上に貢献したいと思っています。

2級

個人
まきの こうすけ
牧野 宏祐さん

1 | ①

2 | 今回初めて自主保全士の検定を受験し、事前の準備不足もあり不安がありましたが、成績優秀の結果に驚いており、大変嬉しく思います。今回学んだ知識を活用し、自社の改善活動に役立てたいと思っています。今後は1級取得を目指し頑張りたいと思っています。

3 | 職場では自主保全の保全知識のレベルアップが課題であり、そのための教育、指導が不足していました。自主保全士のテキストを参考に教育資料を作成し社内教育を行っております。理解度試験を加えて、社内資格認定として運用を開始いたします。

2024年度下期スタート!

現場力強化

「モノづくり仕事入門検定 ～自主保全士基礎編～」

「モノづくり仕事入門検定 ～自主保全士基礎編～」とは

新たに製造業で働く方々等を主な対象*として、必要とされる内容をテキストで学習し、理解を確認する試験です。

※下記に該当する方々を指します。

- 就職を控えている学生の方々
- モノづくりの現場で働く方々(派遣・パート含む)
- 職場にて良い品質で安全にモノづくりを行うために、再学習したい方々

試験内容(予定)

(1) 社会人の基礎 (2) 製造業の基礎 (3) 現場作業の基礎 (4) 自主保全の基礎

その他、詳細は下記の自主保全士公式サイトにて8月公開(予定)です。

<https://www.jishuhozenshi.jp/>

公益社団法人 日本プラントメンテナンス協会
自主保全士検定事務局

Email : jishuhozenshi@jipm.or.jp

<https://www.jishuhozenshi.jp>